

とう どう よう いち
東 堂 陽 一



2月定例会

平成24年度予算案 24年2月26日のブログより

2月議会が始まっています。平成24年度予算案をはじめ合計99件の議案を審議します。一般会計は予算総額1兆1,306億円、一万円札を積み上げると11,306m、富士山のちょうど3倍の高さになります。川勝知事の説明によれば、5つの分野に重点化したとのこと。以下知事の発言をまとめます。

「第1は雇用対策。平成25年度までに3万人の新たな雇用を創造する。3万人は失業率をリーマンショック以前の水準に戻す数字です。

第2は少子化対策。安心して子どもを産み育てられる環境の整備を進めます。妊娠期の悩みや不安に応える相談支援体制の充実、不育症に悩む方の相談窓口の開設、保育所の整備、通院医療費の助成対象を中学3年生まで拡大します。

第3に地震・津波対策。防潮堤の整備や河川堤防、水門の耐震補強を実施し、大規模地震対策等総合支援事業の補助上限額を撤廃します。国の調査に基づき、来年の6月を目途に第4次地震被害想定を策定します。

第4にエネルギーの地産地消への取組。地域資源を活用した多様なエネルギーの導入、地産地消の推進は不可欠です。太陽光をはじめとする新エネルギー等の導入を加速するための取組を進めます。農業用水路を活用した小水力発電などの導入も支援します。



浜岡原発防波堤の視察（3月12日 JFE 清水工場）

第5に内陸フロンティアの魅力ある地域づくり。4月14日午後3時に開通する新東名高速道路に加え、中部横断自動車道や三遠南信自動車道などの整備が進み、県内陸部の交通ネットワークが充実します。交通の利便性と自然環境に恵まれ、災害に強い安全で安心な地域として、新時代の魅力ある地域づくりを推進します。東北地方の復興モデルもしたい。」

以上が知事発言の要旨です。なお、重点項目の予算額は次の様です。

区分	予算額(単位:百万円)
① 雇用対策	43,889
② 少子化対策	12,260
③ 地震・津波対策	23,614
④ エネルギーの地産地消への取組	2,066
⑤ 内陸フロンティアの魅力ある地域づくり	4,102

